

# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果

## 1. 2012（平成24）年度 授業アンケートの実施要領

### 1) 授業アンケートの対象科目

全ての授業形態（講義・演習・実験・実技・実習）の科目をアンケート対象とする。但し、受講者数5名以下の科目及び輪講・複数教員担当の科目を除く。また、対象科目の選定に関する担当教員の希望はとらない。

### 2) 実施期間

前期：平成24年7月11日(水)～7月31日(火)

後期：平成25年1月8日(火)～1月28日(月)

### 3) 授業アンケートの質問

授業アンケートの質問は別表（授業アンケートの質問）の通りである。

### 4) 集計方法・区分

アンケート結果の集計は以下の区分で集計する。

- ①授業科目区分別（全学共通科目、学部共通科目、学科科目、教職・資格科目）
- ②授業形態別（講義・演習・実験・実技・実習）
- ③受講者数別（6～20人、21～50人、51～100人、101～200人、201人以上）
- ④担当教員所属の学部別
- ⑤担当教員所属の学科・一般教育別
- ⑥個人別

## 2. 2012（平成24）年度 授業アンケート結果の概要

### 1) 全学の総評

### 2) 理工学部

- ①学部長による総評
- ②総合理工学科 物理学系
- ③総合理工学科 生命科学・化学系
- ④総合理工学科 機械工学系
- ⑤総合理工学科 電気電子工学系
- ⑥総合理工学科 建築学系
- ⑦総合理工学科 環境・生態学系

### 3) 人文学部

- ①学部長による総評
- ②国際コミュニケーション学科
- ③人間社会学科

- ④心理学科
- ⑤日本文化学科
- ⑥福祉実践学科

4) 経済学部

- ①学部長による総評／経済学科

5) 情報学部

- ①学部長による総評／情報学科

6) 教育学部

- ①学部長による総評／教育学科

7) 経済学部

- ①学部長による総評／経済学科

8) 造形芸術学部

- ①学部長による総評／造形芸術学科

9) 全学共通教育委員会

- ①全学共通教育 委員長による総評

## 授業アンケートの質問

質問	質問内容	
1	授業の目的・内容	授業の目的は理解できるものでしたか。
2		授業の内容は興味が持てるものでしたか。
3		授業の内容は理解できましたか。
4		授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
5		授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
6	授業の進め方	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
7		授業は分かりやすく構成されていましたか。
8		授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
9		授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
10		教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
11	授業の成果	使用された教材（教科書、配布資料、視聴覚機材など）は、授業の理解に役立ちましたか。
12		この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
13		この授業で、関連する分野に興味を持ってましたか。
14		この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
15		この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
16	授業への取り組み	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
17		授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
18		授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
19		授業のマナー（私語・携帯電話・途中入退室をしないなど）を守りましたか。
20		あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。 1：90%以上、2：2/3を超える、3：2/3以下、4：回答欄無し
回答方法（得点） 質問 1～19	1. とてもそう思う（4点）                      2. そう思う（3点） 3. あまりそう思わない（2点）                  4. まったくそう思わない（1点）	

# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 全学の総評

2012年度(平成24年度)の全学の授業アンケートの結果は、昨年度と同様に、全体的に3.0をこえる高い数値になっている。これは、本学の教育が一定レベルの評価を受け、また教育効果をあげていることを意味している。

とは言え昨年度と同様に、質問5（「シラバスの内容は参考になったか」）、質問16（「シラバスを参考にしたか」）および質問18（「自主的な学習をしたか」）への回答が明らかに低い数値となっている。これは、学士課程教育の改善のために求められる「学生の主体的な予習と復習」、またそのための指針となるべきシラバスの活用に関して、今後一層の改善の余地があることを意味している。

学部学科別のアンケート結果を見ても、大学全体の平均値とほぼ同じ傾向が認められる。そうした中、造形芸術学部が全質問項目で大学全体の平均値を大きく上回る高い数値を示していることは、特筆されるべきことである。これは、作品を制作することが授業の軸をなしている同学部においては、シラバスの活用や教員と学生との関係が近いことなどが必要不可欠であることの結果であると考えられる。

逆に、ほぼすべての質問項目で大学全体の平均値よりかなり低い数値を示しているのは、情報学部と経済学部である。この結果の原因と理由が何であるのかを把握するためには、より詳細な調査と分析が必要であるが、(造形芸術学部との比較で考えると)クラスサイズの適不適や教員と学生との距離感などの要因が影響している可能性があるものと思われる。ちなみに、経済学部の場合は、後期の数値が前期のそれより顕著に改善して、ほぼ大学全体の平均値に近づいていることを指摘しておかなければならない。

人文学部は学部全体としては、大学全体の平均値をかなり上回っている。そうした傾向の中、特に国際コミュニケーション学科と福祉実践学科が高い数値を示していること、逆に日本文化学科と人間社会学科が大学全体および学部全体の平均値より明確に低くなっているという特徴がある。福祉実践学科が高い数値を示している要因は、同学科の教育が目的養成型であることであり、逆に日本文化学科や人間社会学科が低い数値に留まっている要因は、両学科の教育がまさに目的養成型ではないことにあると推察される。したがって、目的養成型でない学科の学生に如何に高い学習意欲を持たせるかが、今後の大きな課題であると言える。

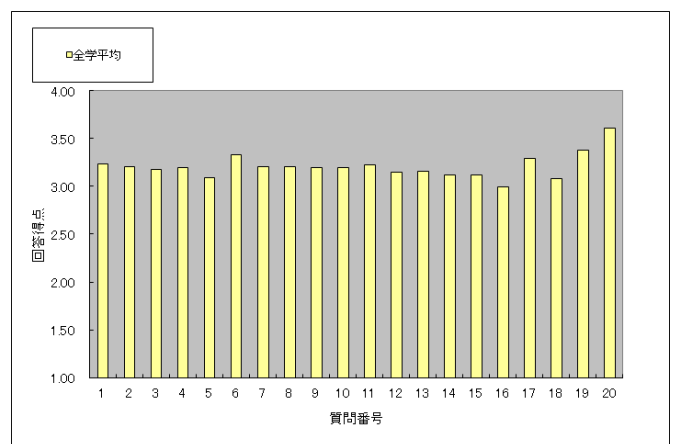
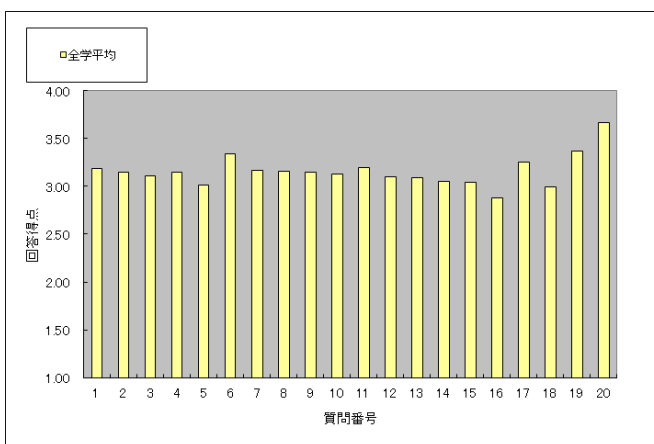
以上、大学全体の授業アンケート結果について概観した。今後の授業改善および学士課程教育の改善に向けて、本結果をなお一層参考にしなければならない。

(全学FD委員会 委員長 服部裕)

### 【対象授業数・回答者数】

前期： 1771件（対象件数） → 1653件（実施件数） 実施率93.3% 回答者数51239（延べ数）  
 後期： 1714件（対象件数） → 1575件（実施件数） 実施率91.9% 回答者数42208（延べ数）

### 【授業アンケート結果（2012年度） 全学 平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	授業の目的・内容	1 授業の目的は理解できるものでしたか。
		2 授業の内容は興味を持てるものでしたか。
		3 授業の内容は理解できましたか。
		4 授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
		5 授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	授業の進め方	6 授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
		7 授業は分かりやすく構成されていましたか。
		8 授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
		9 授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
		10 教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
		11 使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	授業の成果	12 この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
		13 この授業で、関連する分野に興味が増えましたか。
		14 この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
		15 この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	授業への取り組み	16 受講に際し、シラバスを参照しましたか。
		17 授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
		18 授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
		19 授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室をしないなど)を守りましたか。
		20 あなたの授業への出席率ほどのくらいでしたか。

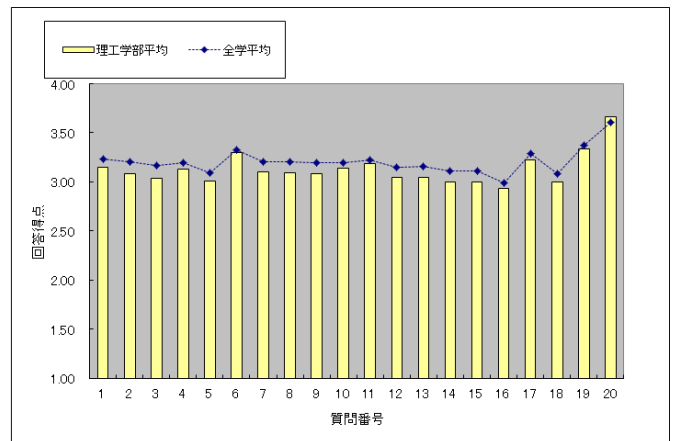
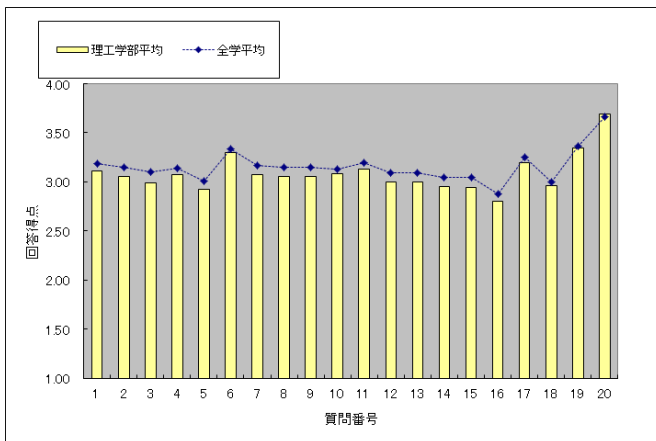
# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 理工学部長による総評

学生の授業への取り組み状況は比較的高く、多くの学生は真面目に授業に取り組んでいる。しかし、例年と同様、シラバスを見たことがない、さらには自主的な学習を行わない学生もいる。シラバスについては授業開始時に教員側から学生に提示することが望まれ、自主的な学習については適切な課題を提起し、積極的に学習する習慣を身に付けさせるなどの工夫が必要であろう。ところで、学生の授業で得られる成果は低く、受け身の姿勢が目立つ。この対策として、より積極的に授業に取り組むよう、教員側の授業内容・方策の工夫・改善が不可欠である。一例として、興味を喚起するプロジェクト科目の有効活用、宿題・レポートの充実、予習・復習とも関連付けたシラバスの提示を実施している学系もある。なお、一部の授業において、教員と学生との間での大きな認識の違いが見られる。今後、教員側が担当科目のアンケート内容を精査し、授業改善を実行するとともに、自由記述欄の学生の声を授業に反映しなければならない。

（理工学部長 濱口和洋）

【授業アンケート結果（2012年度） 理工学部平均】 <左：前期 右：後期>



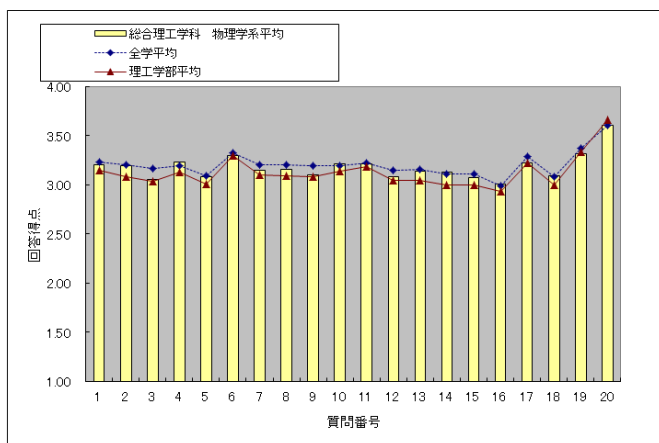
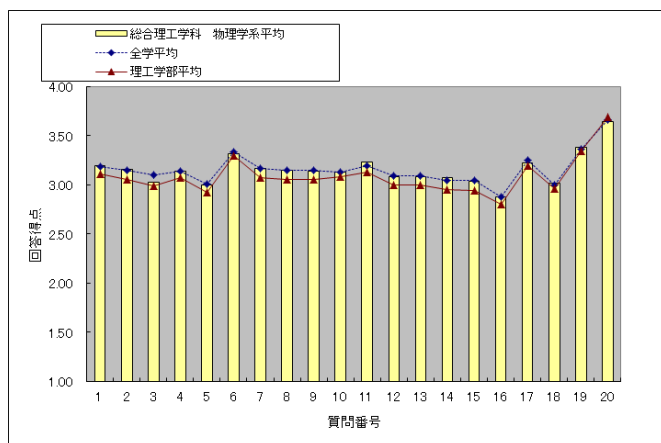
	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てましたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始、終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業がわかりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方はわかりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持てましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞き取れましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・通中人退室をしないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 理工学部 総合理工学科 物理学系による総評

一般にこの種のアンケートでは人文学系に比べ理工学系に厳しくなることが多く、アンケートのほぼ全項目に於いて「理工学部平均」が「全学平均」を下回っていることは妥当である。それに対して、「物理学系平均」は質問項目3「授業の内容は理解できましたか。」のみが「理工学部平均」と同程度に低い他は、ほぼ全項目に於いて「全学平均」と同程度であった。確かに、物理学の専門科目には高度の数学を基にした科目が多く、教育に苦勞しているのであろうが、それ以外は学生の満足度は高い（むしろ高すぎる）ようである。

【授業アンケート結果（2012年度） 総合理工学科 物理学系平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・速中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 理工学部 総合理工学科 生命科学・化学系による総評

ほぼ全項目に渡って全学および理工平均を下回っており、特に前期は回答得点（以降得点とする）が3.0未満の項目が半数あり、これは憂慮しなければならないことである。しかし学生の授業への取り組み（質問項目17～20）では、全学並びに理工平均と同様であり、授業マナーや出席率に対する得点も高い。なお後期では全項目について、理工平均に対しておよび得点についても是正されており、よい方向に向かっている。

＜シラバス参照について＞

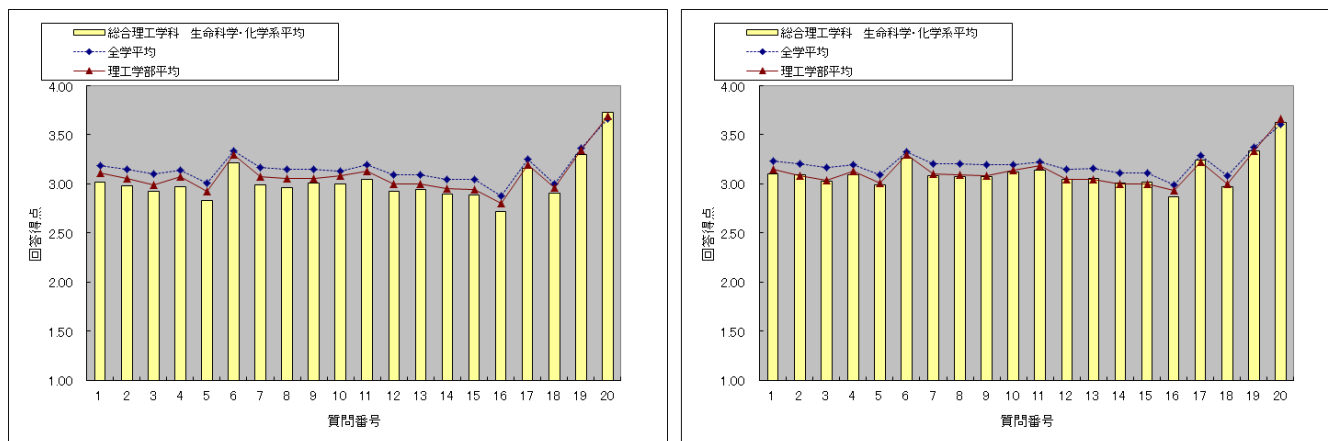
相変わらず得点が低い（質問項目16）一方で、シラバスに沿った講義であるかどうかの質問（質問項目4）に対しては3.0以上の得点があり、受講に際しては講義内容を確認しつつ臨んでいると推察される。これらの結果は当学系で、学びたい内容によりモデル時間割を提示しているので、選択科目受講に際し選択の余地が少ないためではないか。

＜授業内容の理解について＞

低得点は、教員の講義内容と学生の期待度・理解力のミスマッチが考えられ、多様化している学生（特に初年次）に教員の対応が追従できていないのではないかと懸念される。この事項については、後期では改善傾向が見られるので、年次進行とともに基礎学力が身につけば改善されてゆくと期待している。

今後、各教員が担当科目ごとのアンケート内容を精査し授業改善を実行することにより、得点が向上するものと思われる。

【授業アンケート結果（2012年度） 総合理工学科 生命科学・化学系平均】 <左：前期 右：後期>



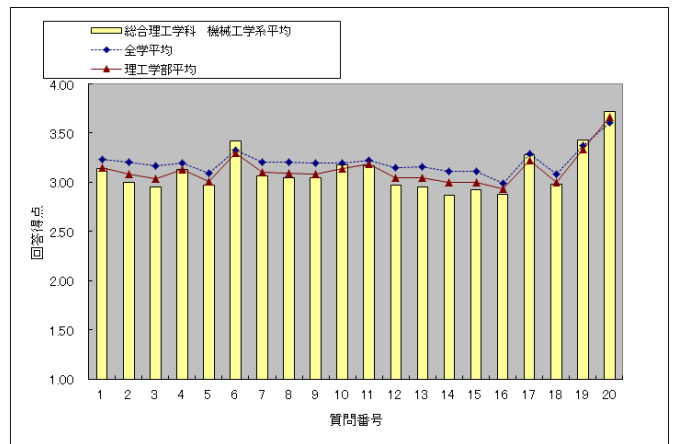
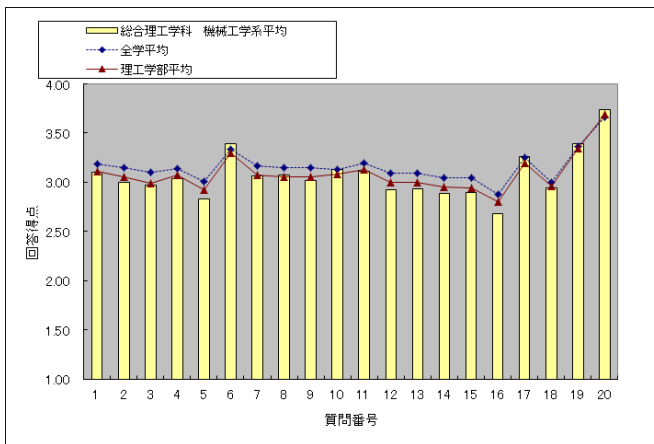
	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味が持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
2	5	授業を修習する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
3	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚資料)などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が持てましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
4	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・盗撮人混みなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 理工学部 総合理工学科 機械工学系による総評

後期でやや目立って改善されたのが16項「シラバスを参照したか」であり、前期の反省を踏まえ最初の授業でシラバスの説明をするなど、シラバスの理解を深めるための努力を行った結果と思われる。シラバスの理解は授業を進める上での基本であり、さらなる努力が必要であると考え。前後期とも理工学部平均をやや上回ったのは6項「授業の開始・終了時間の正確さ」10項「教員との質疑・討議の機会の多さ」17項「授業中の講義への集中度」19項「授業のマナーを守ったか」20項「授業への出席率」である。大切な項目であり引き続きさらなる改善に努めたい。やや下回ったのは12項「目的とした知識・技能が得られたか」13項「関連分野に興味を持てたか」14項「さらに発展的に学びたいと思うか」15項「期待が満たされたか」である。これらは学生の積極性、目的意識の高さとも関連するが、授業の理解度にも大きく左右される。理解度に関連した3項「授業の内容は理解できたか」7項「授業は分かりやすく構成されているか」8項「説明や話し方は分かりやすいか」9項「授業のペースは理解するのに適切か」は平均レベルではあるものの、より高い評価が得られるよう努力することが重要であると考え。

【授業アンケート結果（2012年度） 総合理工学科 機械工学系平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を修習する際にシラバスの内容は参照されましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3	11	提供された教材(教科書、配布資料、視覚教材等)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自発的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・定時入退室しない等)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

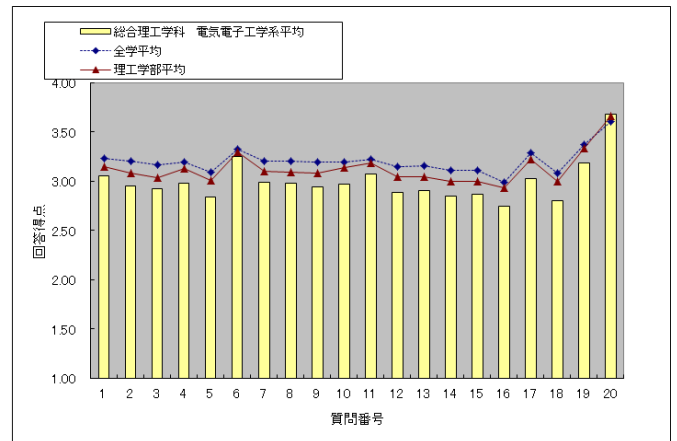
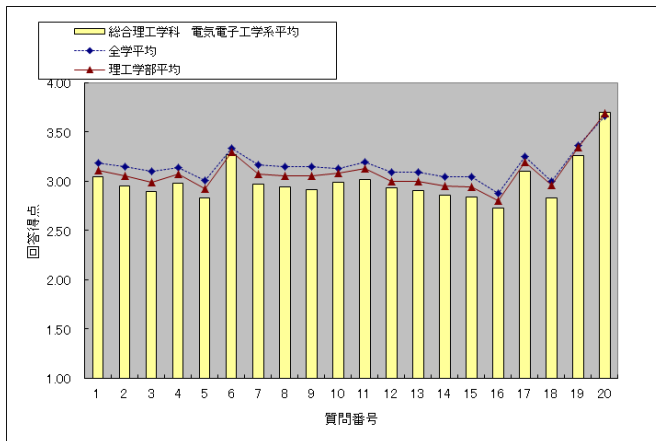


# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 理工学部 総合理工学科 電気電子工学系による総評

（1）回答得点： 全般的に得点が3.0 近辺である。特に、“授業の成果”に関連した質問番号12,13,14,15 の得点は低い。さらに、前期と後期を比較すると、“授業の成果”に関連した得点の低下が目立つ。一方、“授業の目的・内容”“授業の進め方”に関連した質問番号1から11 の得点は比較的高い。（2）自由記述： 回答は少ない。記述の中で、私語が多く授業に集中できないという指摘が依然としてある。授業の進め方の速度、説明の発声方法や板書の文字の大きさについての要望がある。（3）学部平均との比較： 学部平均と比較して、得点が0.1 ポイント程度低い。ただし、「6:授業の開始・終了時刻」「20:出席率」は高い。（4）特定の質問項目に対する評価： 引き続き“授業の進め方”に関連して「7:分かり易い構成」、「8:分かり易い説明や話し方」、「9:理解しやすいペース」、 “授業の成果”に関連して「14:さらに発展的に学びたいと思ったか」、そして“授業への取り組み”に関連して「18:授業時間以外に自主的な学習・準備に努めたか」に注目し、授業内容・方法の改善を図ってきた。プロジェクト科目等で一部、効果が表れてきている。しかし、講義科目については、なかなか効果的な施策を見出せないでいる。（5）授業改善へのフィードバック： 学系内で大きな議論となる点は「学力および学習意欲における受講生間の差の大きさ、それを如何にして克服するか?」である。差が大きいため、全ての受講生にとって満足いく授業を実現することは難しい。体験的なプロジェクト科目を中心に学習意欲を高めていく。（6）今後の課題： 少しでも多くの学生が良かったと思えるような授業にすることを目指し、今後も 学系一丸となつての改善を進めて行く。学生の学ぶ意欲に火をつけるような授業が課題である。特に、「18:授業時間以外に自主的な学習・準備に努めたか」について、支援策を含め改善を図っていく。また、高い学習意欲のある学生が満足できる授業や資格取得等の支援の仕組みも益々重要性が増してきた課題である。

【授業アンケート結果（2012年度） 総合理工学科 電気電子工学系平均】 <左：前期 右：後期>



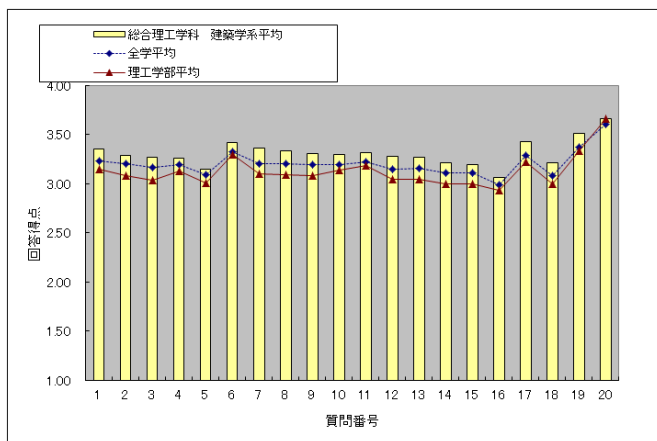
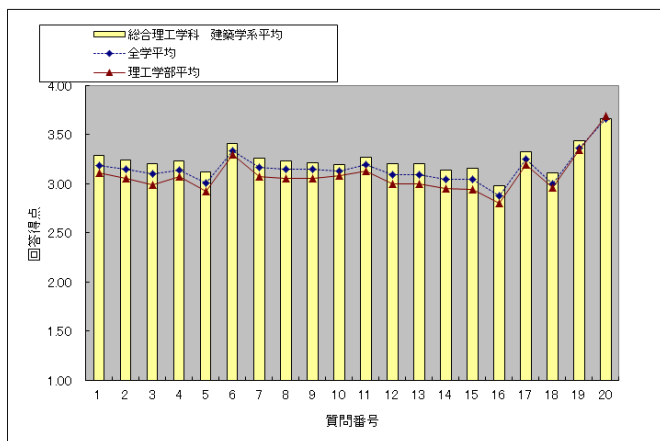
	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考にしましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
3	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	授業に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聴きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・速中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 理工学部 総合理工学科 建築学系による総評

全学平均と理工学部平均を一つの指標とするならば、本学系の平均評価は20項目すべてでこれらの指標を上回るか同等である。これは前年度、前々年度でも同様の結果となっており、このことから本学系の授業レベルが平均値として継続的に一定の質を保っていると考えられる。なお、前期、後期で大きな差が見られないことも平均的な観点からこのことを裏付けている。詳細な数値を見てみると、「問19；授業のマナーを守れましたか」に関しては前期、後期とも全学の学科・学系の中での最上位となっており、「問17；授業中は集中して講義や説明を聞きましたか」も同様に相当上位であることを合わせて、当学系の学生の学びに対する姿勢が比較的に良好であることが読み取れる。このほか授業の構成を問う「問7」、内容や話し方の分かりやすさを問う「問8」の評価が特に後期に高い。ただし、建築学系の個々の講義の評価はばらつきを有している。各教員は各平均値との差を講義に活かすとともに、自由記述欄の学生の声を参考にすることが必要である。

【授業アンケート結果（2012年度） 総合理工学科 建築学系平均】 <左：前期 右：後期>



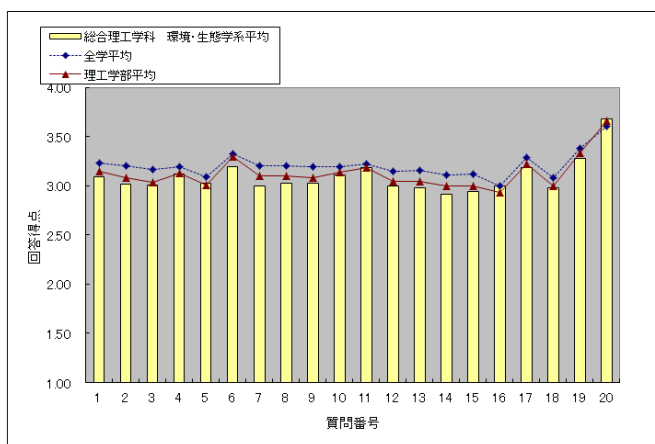
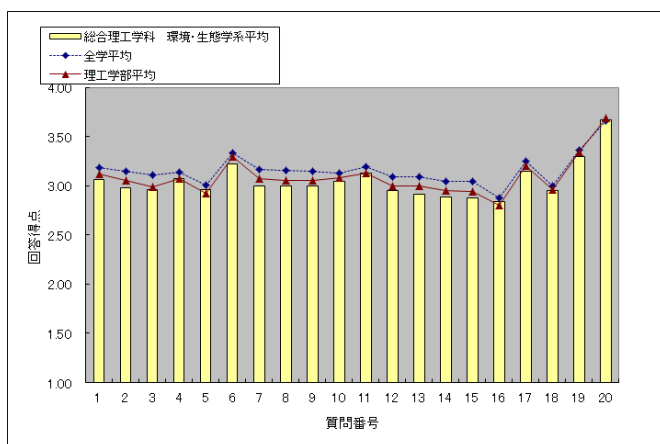
	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てましたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
3	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・速中入室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 理工学部 総合理工学科 環境・生態学系による総評

前年度（2011年度）の評価と比較し、回答得点で1%以上の改善が見られたのは、質問3（+1.2%）・質問5（+1.8%）・質問11（+2.4%）・質問16（+3.3%）・質問18（+3.0%）の5項目であった。これらの中、質問5と16はシラバスに関するもの、質問18は授業時間外の学習に係る項目である。前年度の講評にて、当学系では、JABEE基準に照らし、予習・復習を学生に十分に促すことを学力向上に向けた優先課題と位置づけた。また、その方策として、宿題・レポート等を充実させると共にシラバス内に毎回の授業の予習項目等を記載し、シラバスを予習・復習とも関連づけて活用するよう学生への指導を行う旨、記載した。2012年度における上述5項目の評価改善は、改善率は小幅であるにせよ、以上の学系の取組みの成果を示唆するものと考えており、引き続きシラバス活用と自主学習促進に向けた指導を行っていく予定である。一方、質問19と20のみ、前年度に比し1%以上（3%程度）の得点減少が認められた。授業への取組み態度（マナー・出席率）の点では必ずしも改善が進んでいないことを示しており、この点にも留意する必要がある。

【授業アンケート結果（2012年度） 総合理工学科 環境・生態学系平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てましたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
3	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が持てましたか。
4	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	実習に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 人文学部長による総評

「昨年度の全学評価における課題」に対しての人文学部の状況は、以下のとおりである。

- ・昨年度、全学の総評で課題とされていた「授業の成果」に関する問 12、問 14 および問 15 の改善事項は、前期及び後期において本年度も高い数値（3.2 以上）を示している。
- ・全学および学部学科等に共通して比較的低い数値が低い、問 5、問 16 ならびに問 18 の項目についても、前期及び後期において、全てに高い数値（3.0 以上）を示し改善されている。
- ・全学および人文学部にも共通する「授業へ出席している学生の数値」は、高い数値（3.75）を示しているが、「履修して授業出席をしていない学生指数」も、0.25 の数値があるため、その検証を行い、解決方法を考える必要がある。

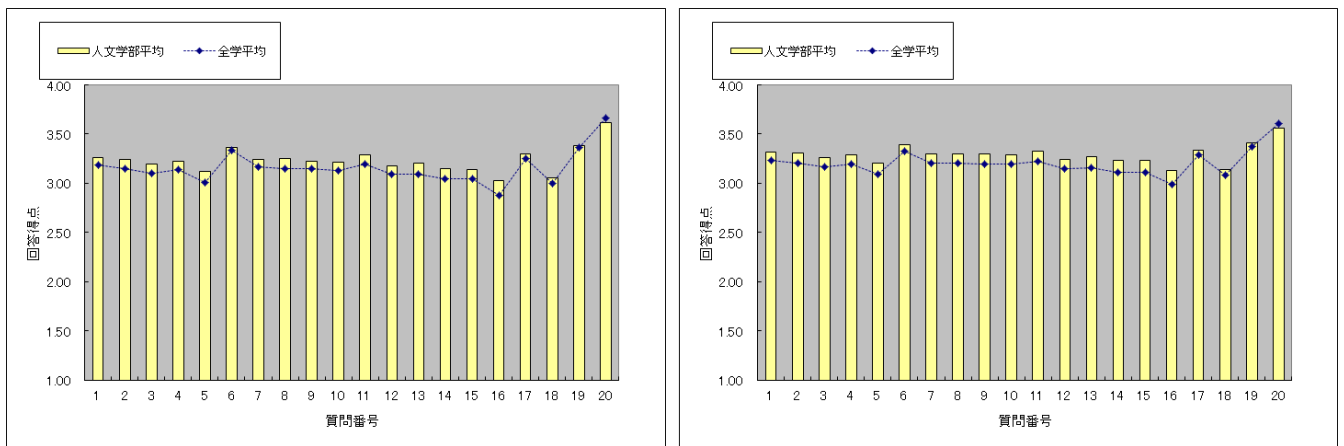
人文学部の特徴は、授業の理解に役立つ教材を多く用い、学生が関連する分野に興味を持てるよう授業運営が行われている点である。それにより、学生が集中して授業を受けていることが、評価として表れている。

また、それを支えているのは、人文学部に所属する 5 学科がフィールドワークやフィールドトリップ、サマースクール、自主研究会等の様々な体験学習をカリキュラムに取り入れ、学生の学問への興味関心を刺激している事が大きな要因でもある。

今後、更に学部の人材養成の目的を視野に入れ、5 学科での学生の学びや成長過程を成果指標に表せる体系的なカリキュラムの検討が必要である。

（人文学部長 垣内国光）

【授業アンケート結果（2012 年度） 人文学部平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てましたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が持てましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

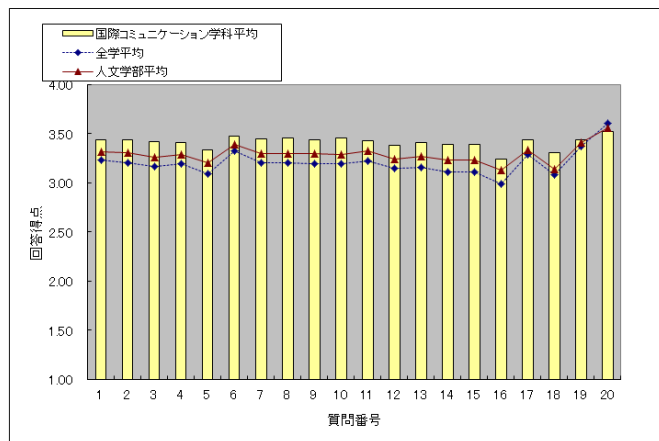
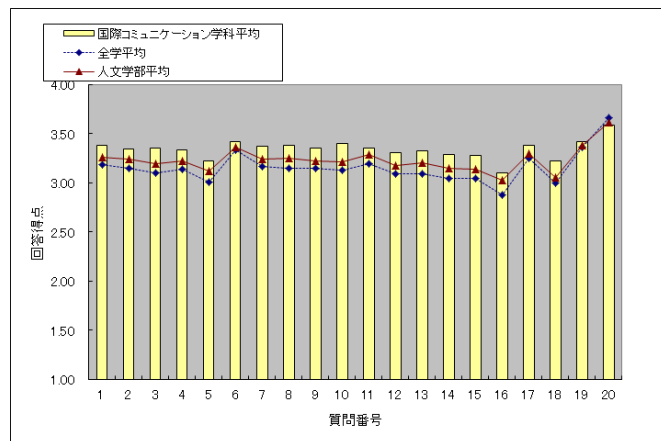
### 人文学部 国際コミュニケーション学科による総評

今年度も引き続き、本学科の授業アンケート結果は、総体的に平均を上回るものであった。本学科のカリキュラムはフィールドワークや留学など体験授業を中心に組まれていて、このような参加型の授業形態が満足度の高さに繋がっているものと思われる。また、学科説明会やオープンキャンパス、入学前教育等、授業外のイベントでも積極的に学生を活用、そうした日頃の交流によって教員と学生の距離が近くなっていることも高い評価の要因となっていると言えよう。とりわけ、今年度は8月オープンキャンパスにサマースクールを開催、多数の学生が学科の広報活動に参加をしたことを特筆したい。

昨年度は質問16「シラバス参照」の得点が低かったが、今年度はやや改善が見られ、平均を上回った。授業初回到授業用に作成したシラバスを配布し、授業の教育方針を明示する努力が報われたと思われる。質問20「出席率」は、今年度も全学平均を下回っている。しかし、出席しない学生のほとんどは授業満足度とは関わりなく欠席しているため、対策が難しいのが現状である。

以上が総評であるが、昨年度と同じように、今後どのようにしてこの高い授業満足度を実践力へと直結させ、学生個々のキャリア形成に繋げていくか、ということが課題となるであろう。

【授業アンケート結果（2012年度） 国際コミュニケーション学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2 授業の進め方	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思えましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・速人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

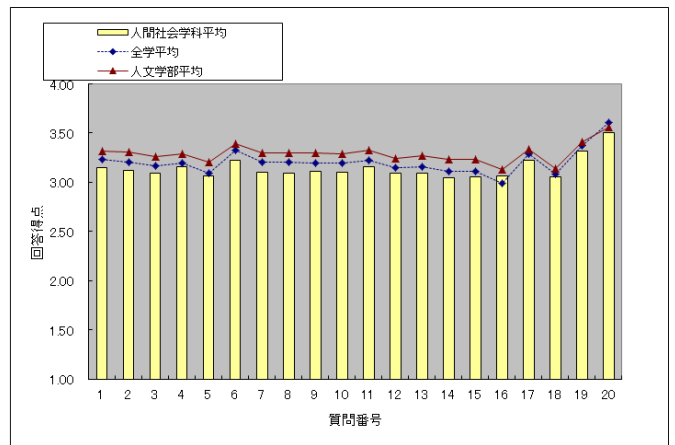
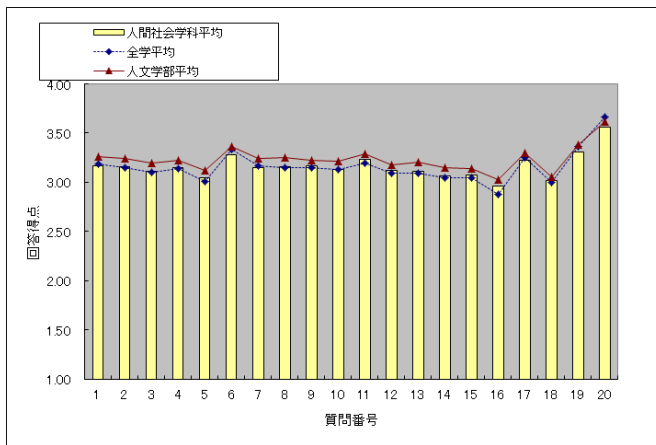
## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 人文学部 人間社会学科による総評

項目ごとに学科平均をみると、20項目中、3項目を除くすべての項目において、得点は3以上であった。カリキュラムに則り、各教員が担当科目の目的、内容、進行に関して改善に取り組んだ成果と考えてよい。ただし、得点が低い3項目のうちの2項目が、「受講に際し、『シラバス』を参考にし、また参照したか」をたずねたものであり、次の点に留意する必要がある。すなわち、第一は、受講学生の関心を引くように、シラバスの内容ならびにその構成についてさらなる改善が求められていることである。第二に、学習においてシラバスとは、どのような内容を持ち、またその重要性はどこにあるのかを理解していない学生が多いことであり、年度当初のガイダンスや、web 閲覧・登録等々の機会を通じて、学生にその点を理解させる必要があるといえる。

また、得点の低かったもうひとつの項目、「授業時間以外にも自主的な学習や準備に努めましたか」についても、少人数制をとるゼミでの教育研究活動を通じて、授業前後の予習・復習が授業の理解にいかに関与するかを学生に周知徹底させていきたいと考えている。

【授業アンケート結果（2012年度） 人間社会学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考にになりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは自分や理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や自講の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに勉学的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
4 授業への取り組み	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入室など)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 人文学部 心理学科による総評

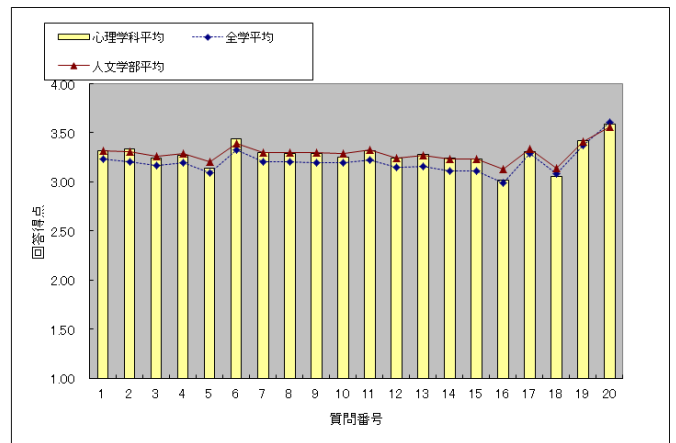
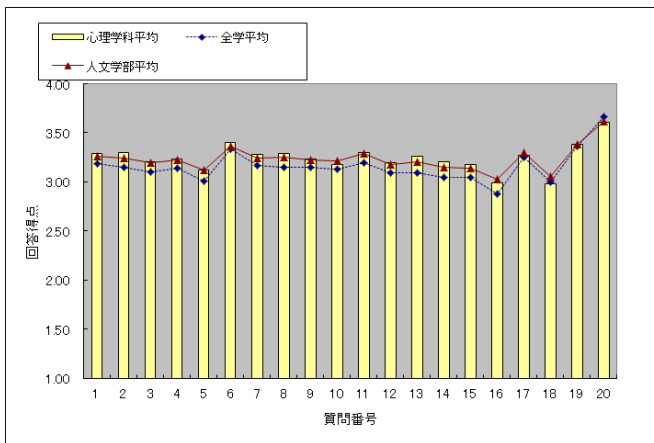
全20項目の内、「学生自身の授業への取り組み」に関する2項目（問18と問16）を除く、すべての項目において、得点は3.00以上であり、「授業の目的・内容」、「授業の進め方」、および「授業の成果」に関しては、心理学科の授業は総じて高い評価を得ていると考える。

項目18「授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか」（前期2.98；後期3.06）は、基本的には学生の自覚によるものであるが、教員側としても、予習や復習、宿題などの課題の提示の仕方を工夫し、授業時間を補完する教授方法を吟味していくことが望ましい。

項目16「受講に際し、シラバスを参照しましたか」（前期2.99；後期3.02）も、基本的には学生の自覚によるものであるが、教員側も、シラバスの内容の改善に努めるとともに、シラバスの重要性和意義を学生に周知させる必要があるだろう。また、シラバスの開示から履修登録までに、学生がシラバスを熟読し、自分に必要な授業を間違いなく登録できるような十分な時間的余裕をとっておく必要もあるだろう。なお、このような教員および大学側の工夫は、項目5「授業を受講する際にシラバスの内容が参考になりましたか」の評価に反映されることになるだろう（心理学科では、前期3.12、後期3.14）。

受講生数の多寡、講義や演習など授業形態の違いなどを考慮しない授業全体の平均値で考察できることは以上である。クラスサイズや授業形態によって、授業で必要とされる内容や方法も異なるので、授業形態ごとに、個別に吟味し、授業の改善につなげていく必要がある。

【授業アンケート結果（2012年度） 心理学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1 授業の目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2 授業の進め方	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業はわかりやすく構成されましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方はわかりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	提供された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3 授業の成果	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4 授業への取り組み	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・途中入室をしないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

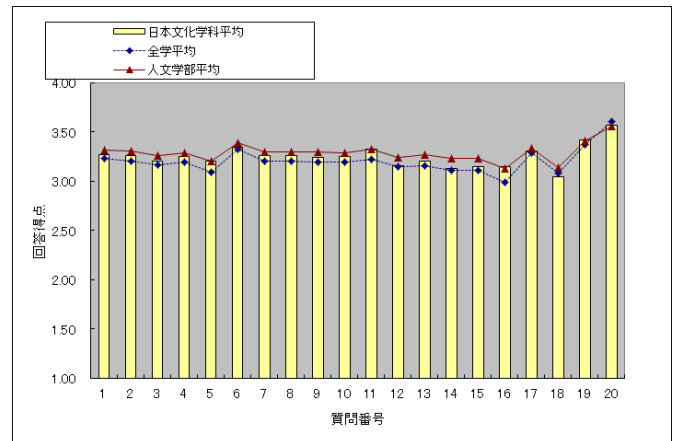
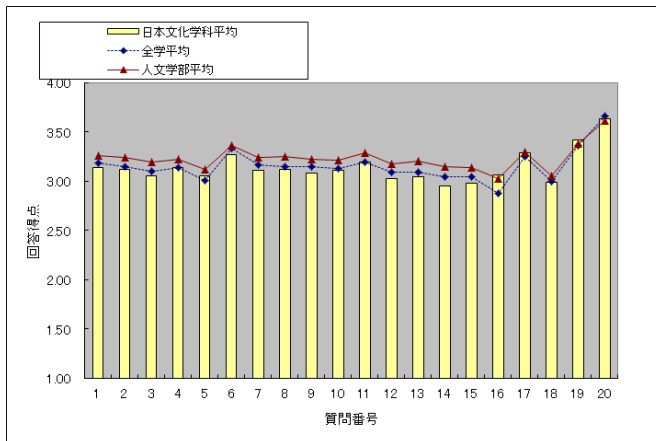
### 人文学部 日本文化学科による総評

日本文化学科の授業アンケートに基づく評価結果は、本年度もおおむね高いと言ってよい。前年度である2011年度と比較すると、前期においては17項目で上昇し、後期では19項目の評価が高くなった。また、例年と同じく後期の方が前期よりも全般的に数値が高く、全学平均を上回るようになる。ただし、人文学部の中ではさほど高くないのが現状である。

アンケートの各項目について逐一言及することにも一定の意味があるが、それらの差異はわずかであり、かつ相対的な数値の話でもある。敢えて取り上げるとすれば、受講態度や自主学習に対する自己評価を示す問17・18はやや低い数値を示す。客観的な基準に基づくものではないだけに慎重に捉えたいが、これらの項目についても率直に「とてもそう思う」と答えられるような指導をしていきたいと考えている。

なお、授業アンケートは、本質的に、授業担当教員がその結果をしっかりと受け止め、絶えざる改善に努めるためにある。改善の方法は多様である。技術的な面での改善もあれば、授業手法の変更による改善もある。さらには、改善の結果が見えにくい場合も少なくない。数値に左右されることなく、緊張感をもってそれぞれの授業を担当し、学生との日々の接触の中から改善を行っていくことが肝腎であろう。

【授業アンケート結果（2012年度） 日本文化学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を修習する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3	11	提供された教材(教科書・配布資料・視聴覚教材等)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的とした知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しない等)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。



## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 人文学部 福祉実践学科による総評

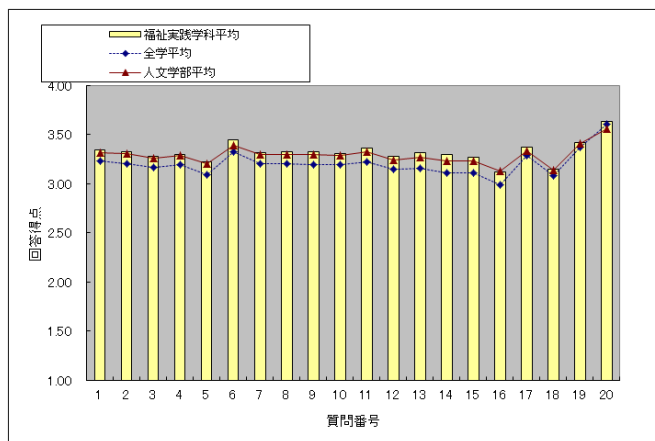
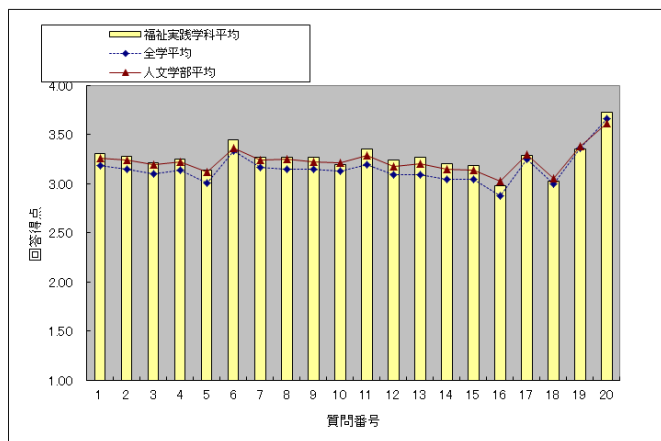
福祉実践学科の平均は、全体的に全学・人文学部を共に上回るもので、高い評価と考えられる。

注意すべき点は、昨年と同様に質問5、16のシラバスについてである。その内容と実際の授業を照らして参考にならないと考える学生もいることには教員側として留意しなければならない。一方で、シラバスを見ること自体が学生に浸透していないとも考えられるのであり、履修登録、ガイダンス時期の指導を徹底させることが必要である。

回答した学生本人については、質問18に現れるように予習・復習の時間を増やす努力を促すことが肝要であろう。出席率にも示されるように、授業態度は総じて良いと考えられるが、教員側としては19に示されるほど授業マナーが良いか疑問も残る。

先に述べた通り総じて評価は良かったと思われるが、今後この傾向を活かすために、学科内でさらに講義の内容や組み立て及び学生指導について検討を重ねることを考えている。

【授業アンケート結果（2012年度） 福祉実践学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てましたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味が増えましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成 24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 経済学部長による総評

学科主任のコメントにも記されているように、授業アンケートの全学集計結果と経済学部のそれとを比較すると、とくに質問項目の1～3、6～10について全学集計結果の平均値を前期は0.04～0.06ポイント程度、後期は0.03～0.07ポイント程度下回っているのが目につく。そのなかでも、授業の目的と内容の理解に関する質問項目の評価値は全学集計結果の当該平均値をかなり下回っている。また、質問項目7～9の経済学部平均評価値も全学のそれと比較して相対的に低い。

以上のデータから判断する限りにおいて、経済学部学生の学習意欲は著しく低下しており、授業内容が理解できない学生が相当数存在することが確認できる。このことは、学生の主体的な学習意欲の向上に資する授業のあり方に係る課題が提起されたものとして受けとめられよう。「わかりやすい授業の展開」と「理解力を高めるための授業改善」が喫緊の課題となっている。

教員個々の評価においては、教員によるバラツキはもちろんあるが、私語対策、板書の仕方、授業内容の説明の仕方などが問題点として提起されているのが目につく。これらについては教員個々が真摯に受けとめているところではあるが、さらなる授業改善が期待される。

なお、今年度（平成 25 年度）、授業アンケートの実施方法が授業時の Web を介したそれへと変更されたことに関連して、若干の問題点を以下に付言しておく。まず、従来の紙媒体時に比べ、回答の回収率が激減している。また、教室によっては電波状況が悪く、アンケートが授業時に実施できなかったということも仄聞している。学科主任のコメントにも記されているように、授業アンケートの実施方法と授業評価のあり方に依然として課題が残されている、と言えよう。

（経済学部長 坂本秀夫）

### 経済学部 経済学科による総評

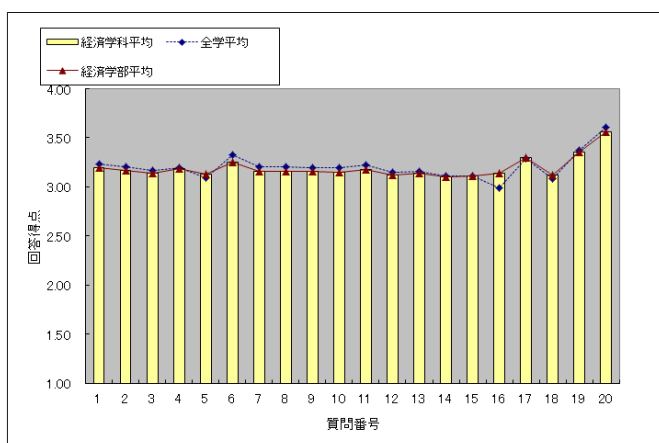
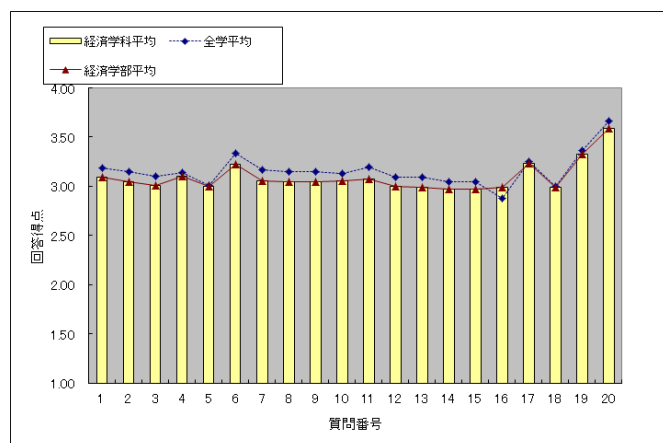
項目毎に学科平均値で概観すると、授業アンケート全 20 項目中、評価値 3.00 を下回った項目は前期・後期を通じて前期 1 項目（質問項目 16）のみであり、学生による授業評価付値の学科平均値は概ね良好であると評価される。

しかしながら、全学集計結果と経済学科のそれとを比較すると、特に、質問項目の1～3、6～10の項目について全学集計結果の平均値を前期は0.04～0.06ポイント程度、後期は0.03～0.07ポイント程度それぞれ下回っている。そのなかでも、授業の目的と内容の理解に関する質問項目の評価値は、全学集計結果の当該平均値をかなり下回っており、質問項目7・8・9の経済学科平均評価値が全学のそれと比して相対的に低い評価値となっていることを併せて評価すると、授業の目的・授業内容の理解に資する授業の進め方ないしあり方に課題があるものと評価し得る。

教員個々の評価についても、授業の進め方との関連で授業内容の説明や話し方、板書や私語対策に関する改善を求める自由記述が散見されることから、経済学科の教育目的との関係で学生の問題関心と学習意欲の向上に資する授業のあり方等について総点検し、改善策を講じる必要があることが示唆されていると言えよう。

なお、教員個々のコメントにおいて、今年度（平成 25 年度）学生による授業アンケートの実施方法が授業時の紙媒体から web を介したそれへと変更されたことに関連して、授業アンケートへの回答数が激減していることから、授業アンケートの結果そのもの意義と有効性について疑問視する旨のコメントが散見されたことを付記しておきたい。授業アンケートの実施方法と授業評価のあり方に課題が残されていることを改めて想起させるものである。

【授業アンケート結果（2012 年度） 経済学部平均】 <左：前期 右：後期>



	質問 番号	質問内容
1 授業の 目的・内容	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
2 授業の 進め方	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
3 授業の 成果	13	この授業で、関連する分野に興味が持てましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講し間、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
4 授業への 取り組み	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中人退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率がどのくらいでしたか。

# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 情報学部 学部長による総評

情報学部情報学科は、2005年度から新しい学科として3コース制でスタートし、2010年度からは、1年生は共通化しコース別に配属しないことにより、より基礎的な科目を習熟度別にクラス分けを行い少人数教育を行うことになりました。専門科目に関しては、2年生から専門科目に取り組むようにし、2年生で専門基礎科目を、3年生で高度の専門科目を学習できるよう科目を配置しました。

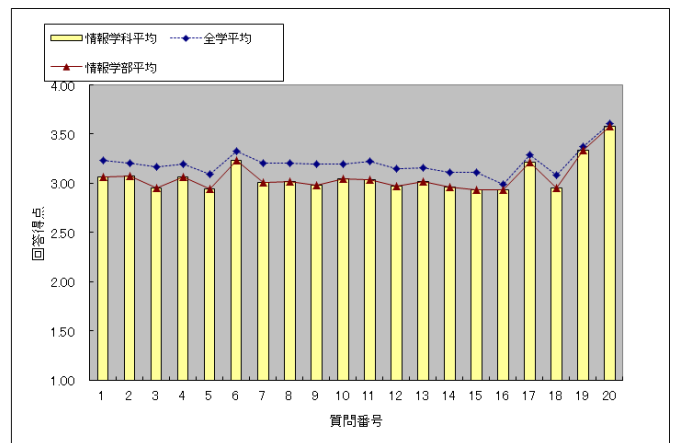
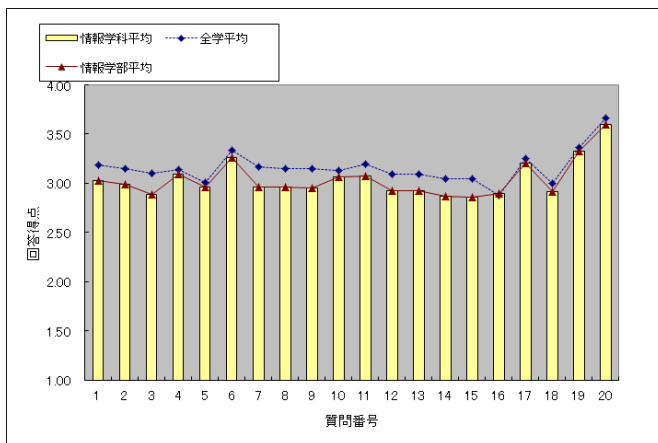
また、カリキュラム・チェーン（科目の連結）を行ってそれらの科目を履修していけば、高度の専門科目が習得できる履修モデルを複数示し、選択を可能とするようにしました。さらに講義中心の専門科目に対し、それに基づく実験などの体験科目をフィードバックさせることにより、講義と体験による効果的な習得を目指しています。

この間、学生による授業に関するアンケートを、毎年、前期・後期の2回実施し、毎年のアンケート結果を次年度の授業改善につなげています。

ここには2012年度に関する結果を公表していますが、学生からのアンケートを分析しますと、数学系、プログラミング系の科目で、相変わらず「授業の内容が難しいものがある」などの意見が見られます。これらの科目については、科目合格率からも同様の傾向がみられるため、学生サポートセンターのリメディアルにくわえて、「寺子屋」による補習や、さらに、部局FDでのプログラミング教育の議論、担当教員の交代、実習指導員の強化を行い、習得率の向上に取り組んでいます。

（情報学部長 蓮池和夫）

【授業アンケート結果（2012年度） 情報学部 情報学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際シラバスの内容を参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のベースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3	11	提供された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・通行人迷惑しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 教育学部長による総評

教育学部／教育学科の授業アンケート結果の特徴的な点は以下のとおりである。

\*回答得点は、前期と後期で差がなく、ほとんど同じ傾向を示している。

\*得点が3.00を下回ったのは、前期の、質問項目5、16であり、後期は16の1項目になっている。後期の5は3.00を少し上回る程度であり、したがって共通して比較的点が低かったのは、「5. 授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか」、「16. 受講に際し、シラバスを参照しましたか」の2項目といえる。このことは、シラバスが十分に活用しきれていないことを示している。

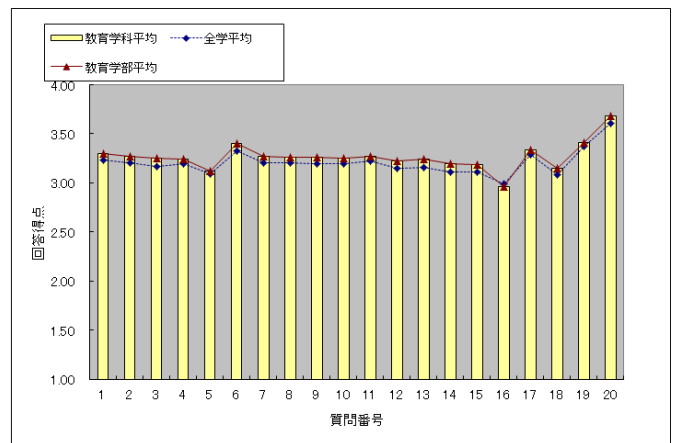
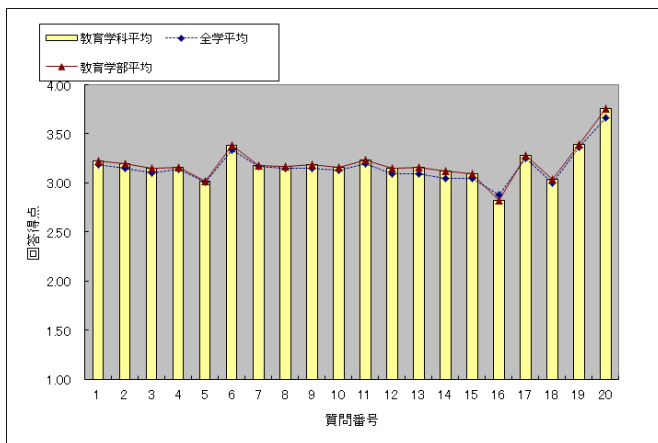
\*シラバスは、授業内容、目的、目標等をあらかじめ学習者に示し、そのうえで、授業に臨むことが期待されているものである。学習者にシラバスを周知徹底させることを教員側が積極的にすべきであろう。一方で、教員側には、明確でわかりやすいシラバスを作成することが求められている。

\*シラバス以外で、3.00をわずかに上回った項目は、前期の「14. この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたが」、「18. 授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか」である。授業に対する姿勢、意欲に関する重要な点であり、教員側は学生を指導する必要がある。ただし、後期はいずれも、前期を上回る結果となっている。

\*20項目全体を見ると、全項目が全学平均とほぼ同じ分布の傾向を示している。質問項目20は「あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか」であるが、教育学部／教育学科の学生の出席率が高い状況を表しているといえる。

（教育学部長 佐々井利夫）

【授業アンケート結果（2012年度） 教育学部 教育学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分りやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分りやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的の知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたが。
4	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・送中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 経営学部 経営学科による総評

前期、後期とも学生による授業評価値の学科平均は 3.0～3.5 の間にあり、概ね良好である。後期の方が明らかに高い評価を受けているが（右図）、両学期における評価のパターンはよく似ている。

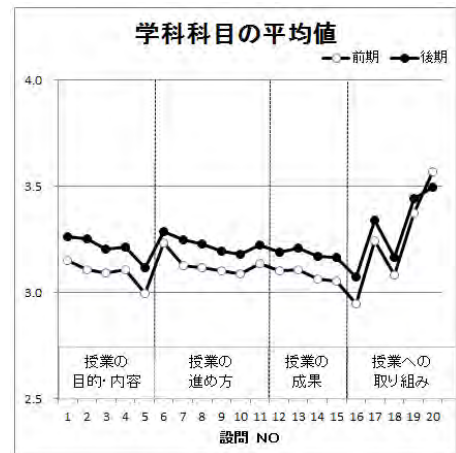
Nos. 16-20 は学生の自己評価項目であるから、付値は高い傾向になるだろう。

シラバスに関する評価値が前期・後期ともに他の評価項目に比べて顕著に低い。それらの質問は「No. 5: 授業の受講にシラバス内容は参考になったか」、「No. 16: 受講に際しシラバスを参照したか」である。これらに対する低い評価は昨年度も同様であり、改善は見られない。2008(平成 20)年度から印刷体としてのシラバス集は個々の学生に配布されなくなった。従って、学生は WEB サイトから参照しなければならない。経営学科では学科科目のシラバスを印刷体で配布しているが、年度初めの履修登録時に活用される程度であろう。従って、「シラバスを授業受講時に参照し・参考にせよ」と意図した質問には回答し難いと思われる。シラバスに関して 3 質問が設けられているが (Nos. 4, 5, 16)、内容を含めて再検討すべきであろう。

教員と学生にとって「授業の進め方」と「授業の成果」は最も関心が持たれる項目である。質問はそれぞれに 5 つある。それらのうち最も低い評価をマークした設問は、

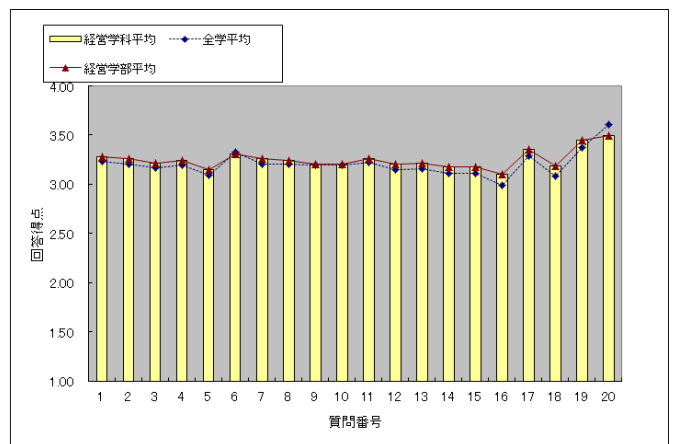
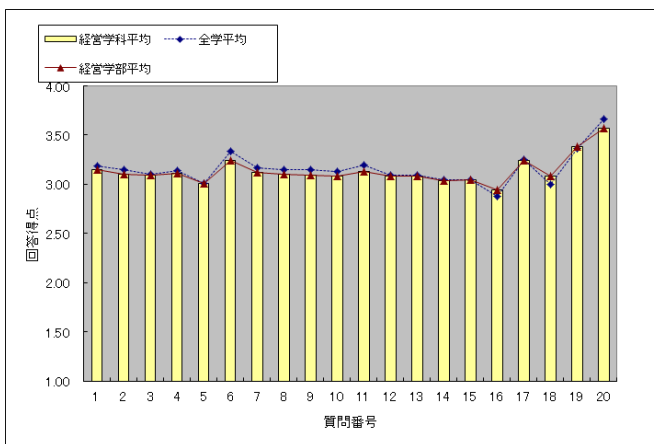
授業の進め方では「No. 10: 教員との質疑応答や討論の機会があったか」、授業の成果では「No. 15: 期待が満たされたか」であり、このパターンは前期・後期ともに同じであった。一昨年（2011 年度）も同じパターンであり、上表はその評価値を比較したものである。両質問に対する前期・後期いずれの評価値も 2011 年度より高くなっており、かなり改善されたと判断できる。一方的な講義ではなくインタラクティブな授業を進める教員の努力がうかがえる。インタラクティブな授業をさらに工夫することによって、学生の授業への満足はさらに満たされよう。学科 F D の機会に教員の意識をさらに高めていきたい。

（経営学部長 阿部克己）



		年度・期	
		2011	2012
No.10	教員との質疑応答な討議の機会がありましたか	前期	2.94
		後期	3.06
NO15	この授業で、あなたが期待していたものがみられましたか	前期	2.91
		後期	3.06

【授業アンケート結果（2012 年度） 経営学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは自分にとって適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

# 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

## 造形芸術学部長による総評

### ■回答得点、自由記述の説明

2012年の造形芸術学部の平均点は3.30である。2010年度が3.28、2011年度は3.29で、毎年微増している。自由記述においては、要望は少しあったが、批判的なものはなかった。

### ■全学と学部平均との比較。

例年全学の平均よりやや高く、2012年度的全学の平均点3.16（2011年度は全学平均3.10）に比較して、造形芸術学部は3.30であった。学部間比較でも最も良い。

### ■特定の質問項目に対する評価

また、大学全体の共通アンケートに加えて、学科独自アンケートでは、学科独自の問題に即した対応ができるようにして、学科FDにつなげるようにしている。

### ■授業改善へのフィードバック、今後の課題

造形芸術学科においては、2014年度より新たなデザイン学部の教育がはじまる。社会におけるどんな分野においても、デザインで学んだ基礎力を活かして生きることができる人材を育成する。造形芸術学部がこれまで築いてきた、体験型教育の成果を新たな教育にフィードバックして、これまでの成果をさらに進化させたい。また、大学としての研究機関としての内容を充実して、新たな教育との両輪で地域への社会貢献が相乗効果で発揮できるよう発展させる所存である。

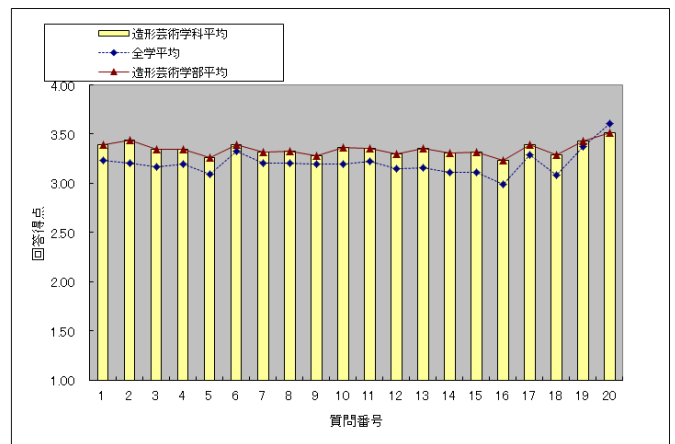
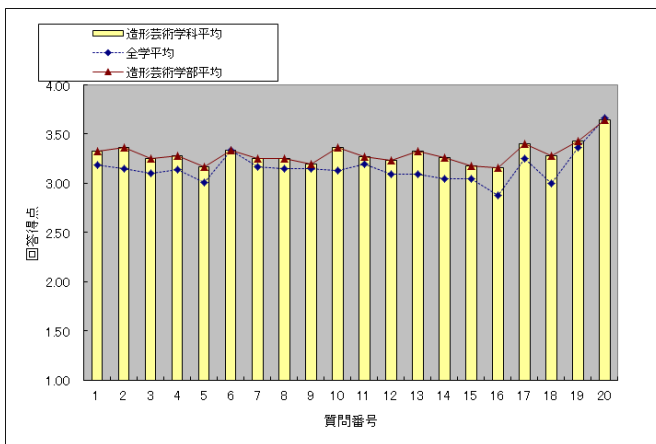
（造形芸術学部長 浅井治彦）

## 造形芸術学部 造形芸術学科による総評

造形芸術学科の「授業評価」は、2012年度も全学の平均に対して全体的に高かった。「手塩にかける教育」の意識が学生に伝わり、高い満足度につながっていると考えられる。また、専攻を決める前に学科の複数のコースを体験できる2年次の「分野別講座」の評価に対し、3,4年次の専攻コースの授業の評価が高い。これは「分野別講座」がその機能を果たしており、学生がこの授業を通じて、自分の適性をよく判断して専門コースを選んでいる結果であると言えよう。

一方、実社会を意識した「体験実習」が、実際に大きな成果をあげているにもかかわらず、「厳しい授業」として敬遠され、履修者数が減る傾向にあたり、就職活動の際に、コースの専門性が、逆に進路の選択肢をせばめていたりするといった問題点も起きていている。これらを解消するため、2014年度の改組で「造形芸術学科」は「デザイン学科」として生まれ変わる。従来の利点であるコース選択の自由度をさらに増すとともに、「体験実習」の教育方法を拡充し、企画力やプレゼンテーション力を7セメスターかけて確実に育む必修の「企画表現演習1〜7」を設置するなど、カリキュラム全体を見直して、社会のどのような分野でも有用な人材を育てたいと考えている。

【授業アンケート結果（2012年度） 造形芸術学部 造形芸術学科平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際シラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容が説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討議の機会がありましたか。
3	11	使用された教材(教科書、配布資料、視聴覚教材などは、授業の理解に役立ちましたか。
	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持つことができましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
4	16	受講に際し、シラバスを参照しましたか。
	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語、携帯電話・速中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。

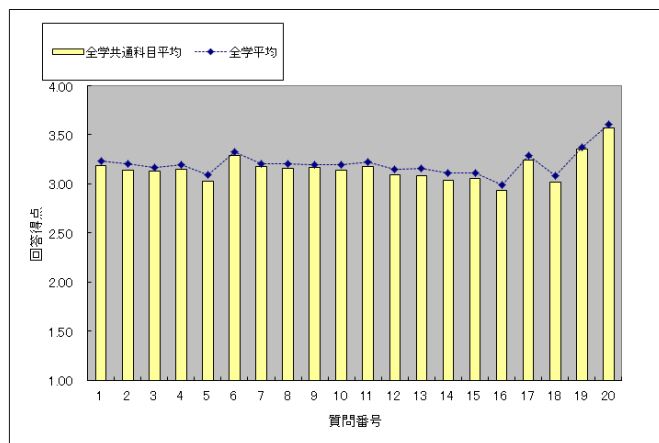
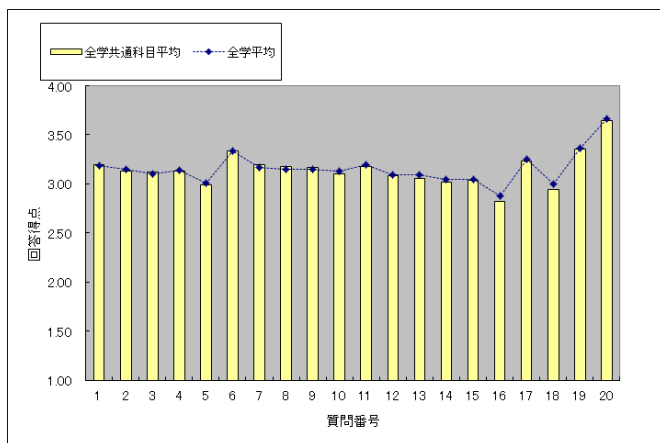
## 2012（平成24）年度 学生による授業アンケート結果の概要

### 全学共通教育委員会 全学共通教育委員長による総評

授業内容に対する理解と関心の程度を示す項目に目を向けて、いわゆる教養科目である全学共通科目の数値を学科専門科目のそれと比較してみると、専門科目の方が有意に高いことが分かる。つまり、専門科目の場合と教養科目の場合では、動機付けされ意欲を持った学生の、履修者全体に占める割合が異なるのである。当然予測される差なのだが、教養科目担当者としては考えさせられるものがある。専門科目としてではなく教養科目として、自己の専攻分野を動機付けの曖昧な学生たちに教える場合、その方法において必然的に要求されるのはイニシエーション（秘伝伝授）の観点である。秘伝・奥義とは、その分野独特の面白さのこと、言い換えれば、人間という不透明な厚みを備えた現実に対する、独特で確かな視点のことである。当該分野への関心・意欲がゼロと想定される学生にこの面白さを伝えようとする工夫と努力は、人間の本質への洞察という学問の原点と、その伝授こそが人間の育成であるという教育の原点とが重なり合う、ある一点へと回帰することに他ならない。この一点は、また、学問への情熱と教育へのそれが重なる点でもある。教養科目担当者は、皆がこのことを知っている。

（全学共通教育委員長 片山文保）

【授業アンケート結果（2012年度） 全学共通平均】 <左：前期 右：後期>



	質問番号	質問内容
1	1	授業の目的は理解できるものでしたか。
	2	授業の内容は興味を持てるものでしたか。
	3	授業の内容は理解できましたか。
	4	授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
	5	授業を受講する際にシラバスの内容は参考になりましたか。
2	6	授業の開始・終了時刻はほぼ正確でしたか。
	7	授業は分かりやすく構成されていましたか。
	8	授業の内容の説明や話し方は分かりやすいものでしたか。
	9	授業のペースは内容を理解するのに適切でしたか。
	10	教員との質疑応答や討論の機会がありましたか。
	11	使用された教材(教科書・配布資料・視聴覚教材など)は、授業の理解に役立ちましたか。
3	12	この授業で、目的としていた知識や技能などが得られましたか。
	13	この授業で、関連する分野に興味を持ちましたか。
	14	この授業で、さらに発展的に学びたいと思いましたか。
	15	この授業で、あなたが期待していたものが満たされましたか。
	16	授業に際し、シラバスを参照しましたか。
4	17	授業中は、集中して講義や説明を聞きましたか。
	18	授業時間以外にも、自主的な学習や準備に努めましたか。
	19	授業のマナー(私語・携帯電話・途中入退室しないなど)を守りましたか。
	20	あなたの授業への出席率はどのくらいでしたか。